

令和2年7月29日
九州地方整備局
大隅河川国道事務所

一般国道220号油津・夏井道路(東九州自動車道)(仮)夏井ICのフルIC化に向けた都市計画変更手続きに着手します

- (仮)夏井ICについては、鹿児島県内からの観光アクセスや防災拠点である宮崎県都市からの支援等を目的とし、鹿屋市方面からの乗降が可能なフルICの計画としていました。
- 平成30年3月に「志布志市都市計画マスタープラン」により、(仮)夏井IC付近が新たな土地利用検討地域として指定され、平成31年3月に策定された「志布志市津波防災地域づくり推進計画」では南海トラフ地震時に宮崎県沿岸部の港湾が被災した場合に、海上輸送拠点である志布志港が代替えする機能を有するとされています。
- この新たな計画を踏まえ、串間市方面へも乗降が可能なフルICとして整備をすることで、速達性の向上による企業誘致の支援、災害物資輸送等の支援が期待できます。
- 今回、(仮)夏井ICのフルIC化に向け都市計画変更手続きに着手することとなったのでお知らせします。

○ 今回のフルIC化により、期待される効果

- ・ 産業振興：新たな企業誘致の支援！ ・ ・ 別紙2
- ・ 防災支援：災害時の救命・救急・啓開活動や物資輸送等を支援！ ・ ・ 別紙3
- ・ 時間短縮：串間市から志布志港への移動時間が短縮！ ・ ・ 別紙4

【問合せ先】国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

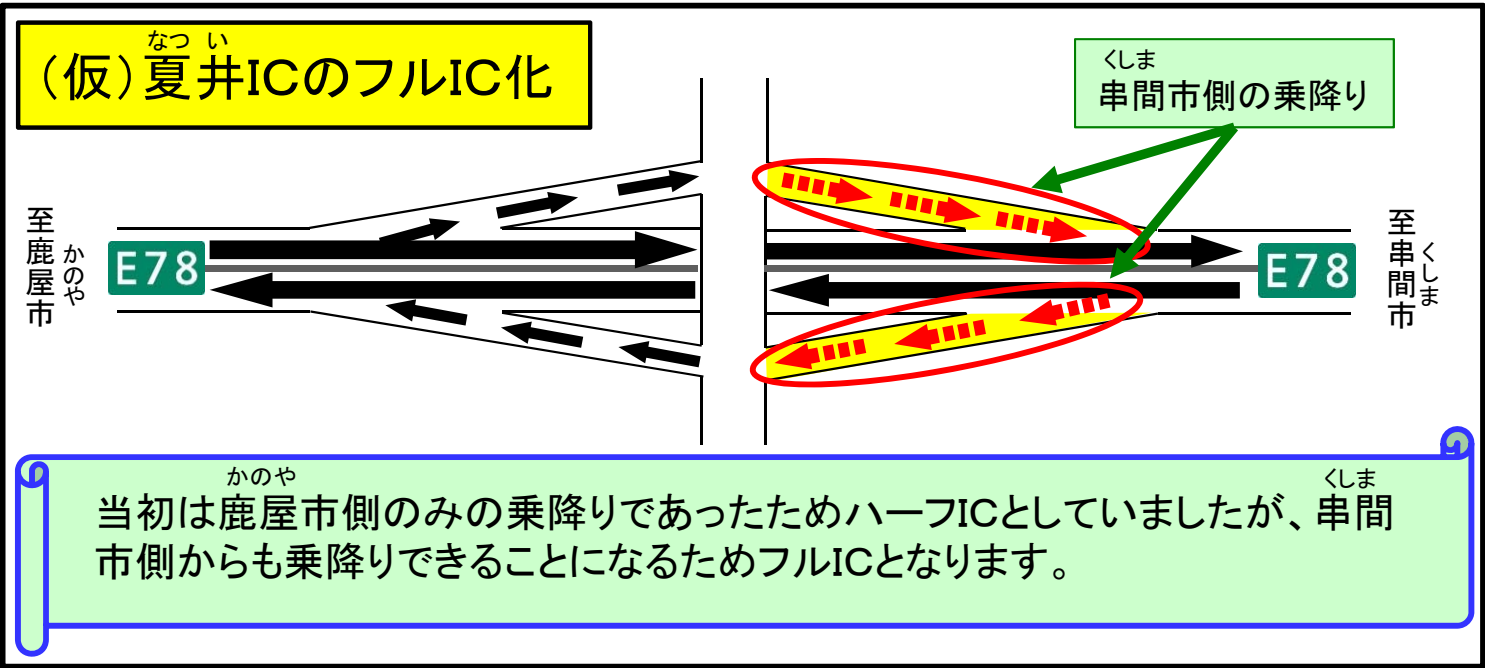
技術副所長（道路担当） 馬場 芳男 （内線 205）

調査第三課長 柳橋 孝博 （内線 451）

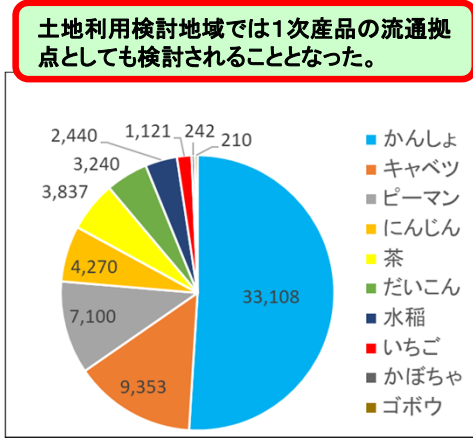
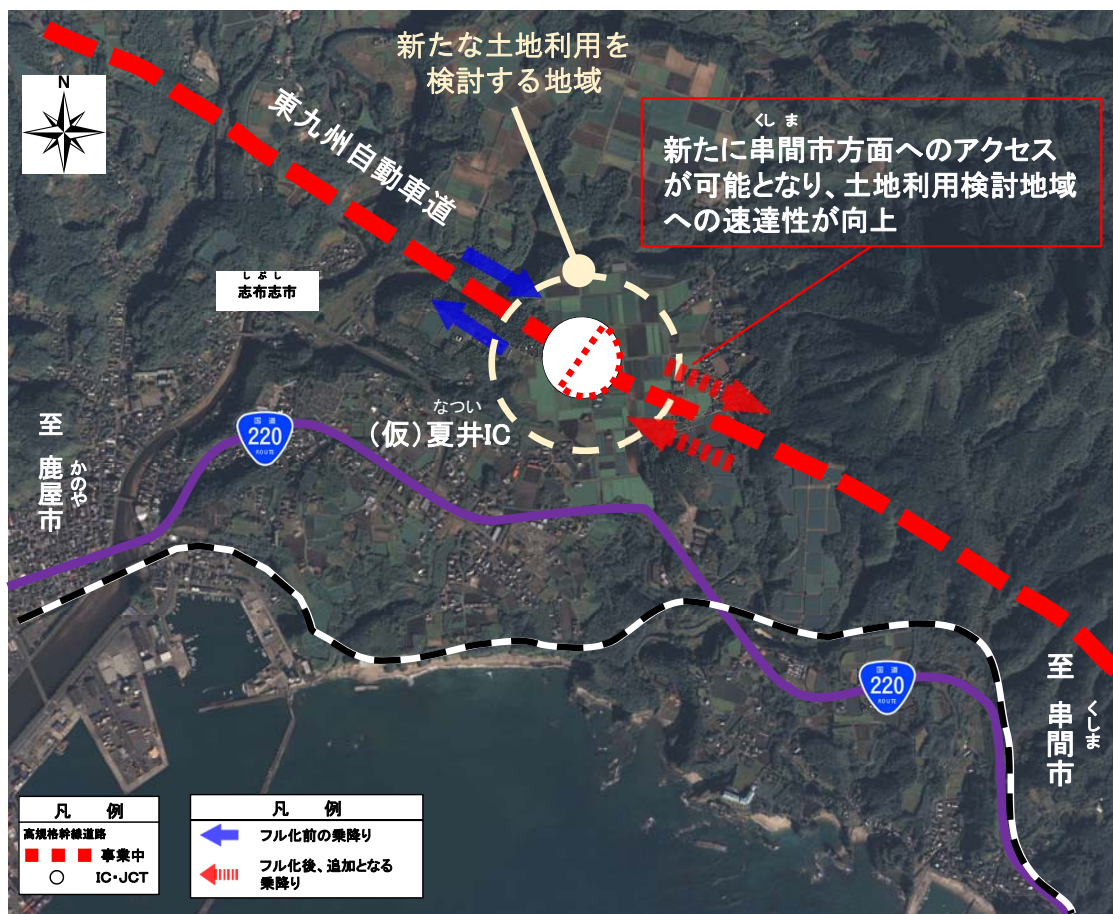
TEL：0994-65-2541（代表）

URL：<http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>

一般国道220号 ^{あぶらつ なつ い} 油津・夏井道路 (E78 東九州自動車道)



- (仮)夏井ICを串間市方面へも乗降が可能なフルICとして整備をすることで、(仮)夏井ICからは、鹿屋市方面でなく串間市方面への移動が可能となります。
- 志布志市都市計画マスタープラン(H30.3)で位置づけられた土地利用検討地域への速達性の向上が図られることから、夏井IC周辺における企業誘致への支援が期待されます。
- 志布志市津波防災地域づくり推進計画(H31.3)においても、高台にあるIC付近が災害に強い拠点形成を図ると位置づけられており、フル化により将来的な利活用向上の支援が図られます。



▲ 志布志市の1次産品 生産量(t)
資料: 志布志市調べ



▲ 志布志市の名物である背白ちりめんの6次産業化
資料: 志布志市提供

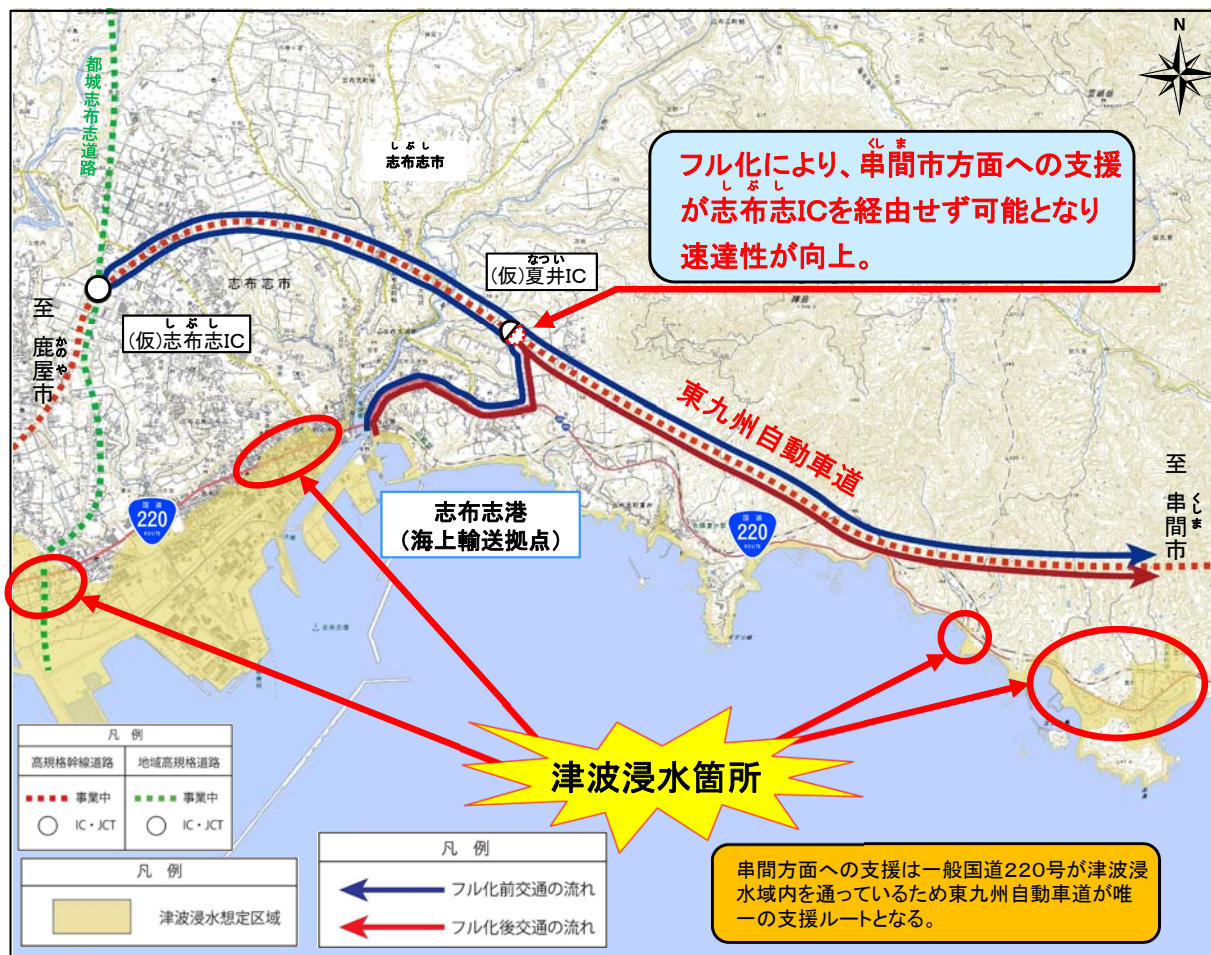


▲ 土地利用の工夫のイメージ
資料: 志布志市津波防災地域づくり推進計画

※1 土地利用検討地域: 商業施設や工業・流通業務施設等の誘導、移住環境の形成等、利便性を生かした新たな土地利用を検討する。
 ※2 6次産業化: 1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組です。

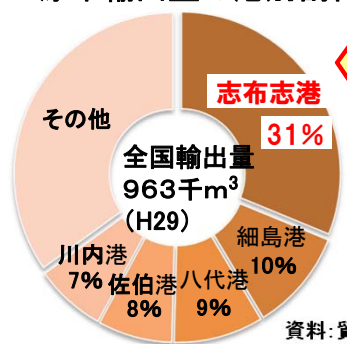
○志布志市津波防災地域づくり推進計画(H31.3)において、南海トラフ地震時に宮崎県沿岸部の港湾が被災した場合に海上輸送拠点である志布志港が他港の代替え機能を有するとされており、今回、串間市方面への高速ネットワークによるアクセスの向上が図られることから、災害時の物資輸送等の支援が期待されます。

○(仮)夏井ICを串間市方面へも乗降が可能なフルICとして整備をすることで、南海トラフ地震による津波浸水地域になっている夏井集落への新たな支援ルートが拡充され、災害時の救命・救急、啓開活動の支援が期待されます。



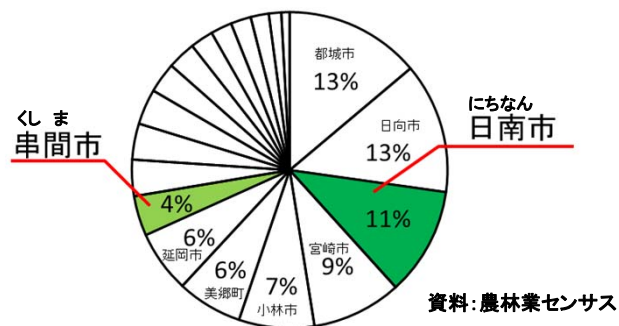
- (仮)夏井ICを串間市方面へも乗降が可能なフルICとして整備をすることで、串間市方面から志布志港の間に所要時間の短縮が見込まれます。
- 宮崎県の杉丸太生産量は29年連続日本で日南市、串間市は主な産地であり、志布志港から輸出しています。
- 宮崎県側からの原木輸送において、(仮)志布志ICを経由するより(仮)夏井ICを利用することで効率的な輸送が期待されます。

■原木輸出量の港別割合



原木輸出量は、国内シェアの3割を超える日本一の出荷拠点港

■宮崎県内の素材生産量割合



■地域の声

- 志布志港へは国道220号を利用して原木を運搬するが、カーブやアップダウンが多くて燃費が悪い。(団体・企業: 串間市)
- 志布志港への輸送にあたり国道220号はカーブが多いため、ドライバーの精神的な負担が大きい。(団体・企業: 日南市)



写真① 道路線形が厳しい区間の木材輸送状況

